

古河機械金属株式会社

目次

企業経営・事業戦略

「古河機械金属株式会社 統合報告書2023」について	2
経営理念・ビジョン	3
古河機械金属グループ各セグメント概要	5
古河機械金属グループの価値創造プロセス	7
トップメッセージ	9
財務担当取締役メッセージ	15
経営戦略	17
事業戦略	19
TOPICS	24

ESG 関連情報

古河機械金属グループのサステナビリティ	25
G: ガバナンス	29
取締役/監査役/執行役員	35
E: 環境	39
S: 社会	42

財務関連情報

11年間の主要データ(連結)	53
経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	57
連結財務諸表	67
会社概要	71
沿革	72



「古河機械金属株式会社 統合報告書2023」について

編集方針

古河機械金属グループは、従来の「アニュアルレポート(統合報告書)」と「サステナビリティ報告書」を統合し、本年度から「統合報告書」の名称で発刊します。本報告書は、すべてのステークホルダーの皆さまへ持続的な企業価値向上に向けた中長期戦略とサステナビリティへの考え方、方針等をより分かりやすくお伝えするなど内容の充実に努めています。また、本報告書に記載のない非財務情報(サステナビリティに係る活動報告、数値データ等)については、別途「古河機械金属グループ サステナビリティブック2023」をご覧ください。

なお、当社グループのウェブサイトでは、これらの報告書のほか、ニュースリリースや決算説明会資料等を通じて、適時・適正に情報を開示しています。

また、本報告書の作成に当たっては各部門と連携・協力して編集を行っており、代表取締役社長の承認により発行しています。

参考にしたガイドライン

- ・IFRS 財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポートング・スタンダード」
- ・TCFD「気候変動関連財務情報開示タスクフォース最終報告書」
- ・(一財)日本規格協会「JIS Z 26000:2012 社会的責任に関する手引き(ISO26000:2010)」

対象期間

2022年4月～2023年3月(一部当該期間前後の活動も含む)

対象組織

当社の活動を中心に、グループ会社や海外での取り組みを含んで報告しています。

【環境データ】

古河産機システムズ(株)生産本部、古河ロックドリル(株)高崎吉井工場、古河ユニック(株)佐倉工場、古河電子(株)いわき工場、同半導体素材製造課(半導体素材分工場)、同光学部品製造課(光学部品分工場)、古河ケミカルズ(株)大阪工場、古河機械金属(株)足尾事業所、古河C&F(株)、足尾さく岩機(株)、FRDいわき(株)

社名表示

古河機械金属(株):当社グループの事業持株会社
古河機械金属グループ:連結子会社32社、持分法適用会社5社
中核事業会社:古河産機システムズ(株)、古河ロックドリル(株)、古河ユニック(株)、古河メタルリソース(株)、古河電子(株)、古河ケミカルズ(株)

発行時期

2023年9月

情報開示体系

財務情報	非財務情報
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「株主・投資家情報」ページ ・有価証券報告書 ・決算短信 ・決算説明会資料 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「サステナビリティ」ページ ・コーポレート・ガバナンス報告書 ・サステナビリティブック

統合報告書(本誌)

古河機械金属株式会社 ウェブサイト

<https://www.furukawakk.co.jp>



将来の見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている当社グループの計画、戦略および将来の見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社グループが現時点で合理的であると判断したものであり、様々なリスク・不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績はこれらの不確定な要素の変動により、開示した業績予想と大きく異なる可能性があります。